

賀川豊彦献身100年記念事業

実行委 来月13日設立



賀川豊彦を顕彰する記念事業について話し合う徳島プロジェクトの準備会＝鳴門市賀川豊彦記念館

準備会 10月県民フォーラム

徳島県が生んだ社会運動家・賀川豊彦（一八八八―一九六〇年）の功績を多くの県民に伝える「献身百年記念事業・徳島プロジェクト」の実行委員会が六月十三日に設立される。十二日、関係団体による準備会で決まった。十月に開く県民フォーラムを中心に多彩な顕彰行事を展開する。準備会は鳴門市賀川豊彦記念館（同市大麻町）で開かれた。賀川にゆかりのある県労働者福祉協議会やJA徳島中央会、県生活協同組合連合会、

NPO法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会の関係者とキリスト教会関係者の計十一人が出席。実行委員長に同記念館館長の田辺健二鳴門教育大学名誉教授を選んだ。メイン行事と位置づける県民フォーラムは、十月十日に徳島市内で開く方向で調整中。野尻武敏神戸大名誉教授の基調講演のほか、各地の研究者らによるシンポジウムを予定している。賀川の生涯を描いた映画「死線を越えて」の「二万人上映会」は九―十月ごろに県内各地で開く。徳島プロジェクトではこのほか、旧制徳島中学校在学中の賀川に大きな影響を与えた米国人宣教

師のローガンとマヤスのスラム街で献身的な救済活動を初めてから百年の節目に当たることから、東京や神戸でも各種記念事業が展開されている。今年、賀川が神戸の